

稲沢市立治郎丸中学校 新制服規定書

稲沢市の中学校の制服は、児童・生徒、お家の方、教員、縫製メーカーの方など、「みなさんの想い」から作られています。以下のように制服を正しく着用することで「着る人」と「その周囲の方々」にその「想い」が届くようにデザインされています。みんなの想いを正しく発信するために、制服の着用方法を確認します。

《^{じょうい}上衣1》ブレザー ※指定あり

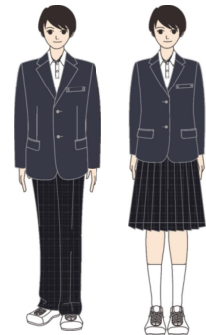
指定のブレザーを着用します。

○ボタンについて

- ・ボタンを原則2つとも留めます。式や集会、高校の体験入学など、正装の場では特に意識します。

○名札について

- ・着用します。夏服のシャツの時も同様です。
(長期休業中以外、名札は学校保管)



《^{じょうい}上衣2》ポロシャツ(推奨品あり)・カッターシャツ・開襟シャツの中から選択

※指定なし

シャツのデザインは「^{えり}襟付き」、「^{そで}袖付き」「ボタン付き」。シャツは白色の無地とします。ポケットの有無は問いません。

○^{えり}襟について

- ・スタンダード(レギュラーカラー)、ボタンダウンなど、襟の形は問いません。
- ・ポケットの有無は問いません。(ポケットに名札を付けるので有が望ましい。)
- ※ 夏服では名札を着用することを念頭に選択をお願いします。

○^{そで}袖について

- ・長袖、半袖、期間を決めず、どちらを着用しても構いません。
- ・袖の長さは「半袖～長袖」までとします。
- ・温度調節のために五分丈や七分丈などでも構いません。
- ・夏服、冬服の期間は定めていませんので、気候や体調に合わせて選択してください。

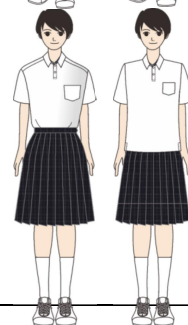
○シャツの裾すそ

- ・上衣（ブレザー）を着用する際は、シャツの裾を入れます。
- ・夏季の暑さ対策として、裾の短いシャツは裾を出しても構いませんが、お尻が半分以上隠れる長さのシャツは、下衣に入れます。



○シャツのボタン

- ・開襟シャツは一番上から留めますが、上1つ（一番上）は開けても構いません。
→ 首回りが苦しくないように。温度調節にもつながります。個人の判断ですべて留めるのは構いません。
- ・2番目以降は留めます。



○シャツやポロシャツのワンポイント

- ・ワンポイントがあるものも使用できますが、自分で後付けはしません。
→ 周りの人に不快感を与えるような絵柄や文字は不適です。大きさがワンコインサイズであっても同様です。

○シャツの柄

- ・白色の無地とします。袖口や襟、襟の裏等にあるラインの有無は問いません。
→ 制服販売店及び他の衣料品店で購入可能です。

《かい下衣》スラックス・スカート・キュロットを選択 ※指定あり

指定のスラックス、スカート、キュロットを選択して履きます。

○スラックスやスカート、キュロットの長さ

- ・「スラックス」…くるぶしが隠れる長さのもの
- ・「スカート」「キュロット」
…ひざが隠れる長さのもので今までの学生服やセーラー服と同様の長さとしています。

※ 新制服は、令和6年度入学の新1年生より採用します。ただし、現行の詰襟学生服・セーラー服でも構いません。

※ 令和6年度の新2・3年生は、原則、卒業まで現行の詰襟学生服・セーラー服としますが、新制服に変更していただいても構いません。ただし、商品供給の都合上、令和6年度の入学式以降の購入をお願いいたします。

旧制服との組合せでも構わない。（夏服・上記の上衣シャツと旧ズボン・スカートとの組合せなど）。移行期間等も設けない。

稲沢市立治郎丸中学校 制服付属品規定書

《肌着》

- 白、紺、黒、ベージュなどの無地で単色の落ち着いた色合いのものを使用します。
※ 汗や皮脂などの汚れを吸収して清潔に保つことが目的です。周りの人に不快感を与えるような絵柄や文字は不適です。

《靴》

- 白、黒、紺、グレー、などを基調にした歩きやすく、運動しやすいものを使用します。
- ワンポイントやラインがあるものでも構いません。
※ 歩きやすさ、動きやすさ、汚れたら何度も洗えることが大切です。通学用と体育の授業のためのものと考えています。
- 靴のかかと部分には記名をします。高価でないものとしします。

《靴下》

- 白、黒、紺、グレーなど単色のものを使用します。ワンポイントやラインがあるものも使用できます。
- 長さについては、運動に適したものを使用します。

《ベルト》

- 黒で装飾のないもので、極端に細くないものを使用します。

《中間防寒服および防寒服》

- 気候に応じて、ジャケットの下にVネックのベスト・セーター・カーディガン・インナーダウンを使用します。
- 単色の落ち着いた色合い（ベージュ、黒、紺、グレー等）のものとしします。ワンポイント（ワンコインサイズ）があるものや袖口・襟元などにラインがあるものでも構いません。
- 中間防寒具の丈については、ブレザーを着た際に出ない長さとしします。
- シャツの上に中間防寒服だけ（ブレザーなし）を着用した登下校はしません。
※ 中間防寒服は体温調節の補助的役割を果たすことが目的です。制服だけでは体温の調整が難しい場合に使用します。
- ブレザーの上に羽織るものなどについては、気候に応じてコートやウインドブレーカーを使用することができます。
- タイツやストッキング、レギンス等を着用する場合は、単色の落ち着いた色合い（黒、紺、グレー等）のものを使用します。